

国際署名 報告とお礼

昨年暮れから今年の春にかけて、ジュゴンの生息地である辺野古埋め立て、米軍基地を建設する計画の撤回を求める国際署名を行ないました。アメリカ（130名）、日本（40名）以下35カ国から244名の署名がオンラインで野田佳彦議員事務所に送られました。

ジュゴン、マナティー保護のことで国際的に高名なエレン・ハインズ博士をはじめ、力を貸していただいた方々に心から感謝します。署名の日本語版を始めようとしていたのですが、わたしの体調が悪化し断念しました。以下に、署名文の和訳と、署名に加えて寄せられたコメント文をいくつか紹介します。（国際部 弥永健一）

署名文（和訳）

野田首相、沖縄県辺野古沖に新しい米軍基地を建設することを止めてください！

辺野古沖には美しい海がひろがり、いまでもいのちが豊かに息づいています。ここには海藻の広い群落がありますが、海藻はジュゴンにとってのただ一つの食べ物です。沖縄のジュゴンは、世界のジュゴンのなかで最北端に生きています。人魚伝説は彼らジュゴンをモデルとしています。ところが、沖縄のジュゴンは絶滅の危機にあり、10数頭も残っているかどうかというありさまです。野田首相、あなたもよくご存じのように、沖縄県民は、海にも陸にも新しく米軍基地を作ることに反対しています。国土面積の0.6%しか占めない沖縄県に日本の米軍基地の70%以上が集中しています。野田首相、あなたは沖縄県民の反対を無視し、平和な辺野古沖を埋め立てて巨大な空港を作ろうとしています。海のいのちは失われ、かろうじて生き残っているジュゴンも姿を消すでしょう。野田首相、あなたは莫大な金を提供して沖縄県民に重荷のみ込ませようとしています。このような金は人々のあいだにくさびを打ちこみ、不必要な開発による自然破壊を招くだけです。あたらしい基地は、もしも完成すれば、人々の怒りに囲まれる場所になるでしょう。野田首相、あなたはCOP10の主催国の首相として世界の人々の先頭に立ち、生物多様性保全のために努力するべき立場にあります。母なる大地をこれ以上破壊することは止めてください。

署名文に寄せられたコメントの中から

沖縄をルーツとするアメリカ人として、大浦湾および高江に基地を建設することに反対します。...沖縄県民を、時代遅れの米軍地位協定で脅しつけ、無権利状態におくことは、もう止めてください。軍事基地はいかなる場所にあっても反対します。あらゆるいのちを守りましょう。

《ハワイ在住のアメリカ人》

わたしはこの計画に反対します。海や川を損ねるような開発行為にはすべて反対です。わたしは28年間マナティー見学のガイドをしてきました。そのなかで、住宅地や大型店舗、道路などの建設が、わたしたちの水系とエコシステムをどのように損ねてきたか、直接見てきました。

《フロリダ在住のアメリカ人》

母なる大地は、わたしたちを育み、日日の糧を与え、教え導いてくれます。生きとし生けるものたち全ての美しさは、この母の内にあります。わたしたちに授けられたものを守り、ケアすることはわたしたち皆の義務です。貪りのためにこれ以上むごいこと、殺しをすることはもうたくさんです!! わたしたちは、人として、この大地といきとしいけるもの全てを等しく守らなければなりません。

《ハワイ在住のアメリカ人》

大地と海と、この地球になにをしているのか、お分かりの筈です。いまされていることの報いは必ず受けることになるでしょう。

《イギリス在住》